

平成 26 年度 大雪山国立公園 表大雪地域

登山道関係者による情報交換会

【議事録】

平成 26 年 12 月 19 日(金) 13:00~16:00
上川総合振興局 講堂

時間	担当	内容
13:00	東川自然保護官事務所	<p>定刻となりましたので、平成 26 年度大雪山国立公園 表大雪地域登山道関係者による情報交換会を始めさせていただきます。皆様には年末の何かとお忙しい中、ご出席頂きましてありがとうございます。本日の司会進行役の東川自然保護官事務所の岸田です。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>はじめに上川自然保護官事務所の野川自然保護官より挨拶を申し上げます。</p>
13:02	上川自然保護官事務所	<p>皆さん、こんにちは。上川自然保護官事務所の野川です。本日はお足元の悪い中、多くの方にお集まり頂いて、感謝申し上げます。</p> <p>今年、大雪山国立公園 80 周年を迎えまして、日本の中でも歴史のある国立公園で、区切りの年となりました。私は今年は巡視でよく歩き、多くの方から登山道が良くなったね、とお褒めの言葉を多く頂いた年でもありました。この様に多くの皆様に楽しんで頂く登山道を管理していけるのも皆様のご協力があるからです。</p> <p>今日の情報交換会では、今年度の皆様の活動を共有し、課題を共有し、今後どのようにやっていくのかも皆様のご意見を交わしていけたらと思っています。報告事項の他に、現在環境省で行っている登山道にランク付けをしている管理水準についてもご説明をして、ご意見を頂きたいと思っています。短い時間となりますが、皆さん宜しく願います。</p>
13:04	東川自然保護官事務所	<p>続いて資料の説明をさせていただきます。</p> <p>《資料の説明》</p> <p>資料の不足等ございましたら、お知らせ下さい。</p>
13:07	東川自然保護官事務所	<p>それでは本日の進め方について説明させていただきます。</p> <p>まずはじめに、登山道管理水準について意見交換をさせて頂き、続いて各機関・団体等の今年度の活動実施報告と来年度の活動予定をお話頂いて、最後に山域毎に別れてグループディスカッションをして頂きたいと思います。グループディスカッションについては後ほど改めて詳細を説明させていただきますが、名簿の横にアルファベットが記載されていますので、A・B の 2 グループに分かれてディスカッションを行いたいと考えています。グループ分けはしていますが、途中から別のグループに参加して頂いて構いませんし、アルファベットの記載がない方はご興味のあるグループどちらに入って頂いても構いません。</p> <p>それでは早速ですが、情報交換にうつらせて頂きます。はじめに環境省から管理水準についてご説明させて頂き、意見交換を頂きたいと思います。資料の順番通りに進まず申し訳ありませんが、資料 9 をお聞きください。</p>
13:10 13:40	上川自然保護官事務所	《登山道管理水準についての説明》

13:40 13:35	～ 東川自然保 護官事務所	<p>ありがとうございました。それでは今、ご説明しました管理水準についてご意見あれば伺いたいと思いますが、いかがでしょうか？</p> <p>《意見なし》</p> <p>ないので、2点目の各機関の今年度の活動報告・来年度の活動予定の意見交換に移ります。それでは資料1～資料8をご覧ください。</p> <p>資料1は事前に頂いた情報を一覧に整理したもの、資料2～7は各機関から別途頂いた詳細資料、資料8は事前に頂いた作業箇所を地図に落とししたもになっていますのでご参照ください。</p> <p>《資料1の説明》</p> <p>資料を提出して頂いている方から補足説明をお願いします。</p> <p>まずは上川総合振興局環境生活課さんの活動について、北海道山岳整備岡崎氏より詳細説明をお願いします。</p>
13:35 13:45	～ 北海道山岳 整備	<p>北海道山岳整備の岡崎です。上川総合振興局環境生活課さんの夫婦階段補修の講師をやらせてもらいましたので、私の方から説明をさせていただきます。</p> <p>《別紙1の説明》</p> <p>施工内容は木柵・石組み段差処理が20数段出来ました。来年度以降もこういったボランティア補修があれば参加したいと思います。</p>
13:45	東川自然保 護官事務所	<p>ありがとうございます。次に美瑛山岳会様、ご説明をお願いします。</p>
13:45 13:50	～ 美瑛山岳会	<p>《資料4の説明》</p>
13:50～ 13:51	東川自然保 護官事務所	<p>ありがとうございました。続きまして大雪山国立公園パークボランティアの活動報告をさせていただきます。</p> <p>《資料5の説明》</p> <p>続きまして、北海道山岳整備様、ご説明をお願いします。</p>
13:51 13:56	～ 北海道山岳 整備	<p>《資料6説明》</p> <p>今年もいくつかの場所で整備をやらせてもらいました。</p> <p>時々、ピウケナイ沢の飛び石工をしたりしていますが、大体は酷い浸食箇所の補修と、既存施工物の補修をしています。</p> <p>一つ紹介したいのが、3OPの「山楽舎 BEAR①」です。これは山楽舎 BEAR が企画した登山者が自ら登山道を直すツアーで今年で4年目、私が関わって3年目となります。来てくれた人は次の年も必ずツアーに参加してくれ、反応もよく、翌年も参加すると声をかけてくれ帰ってくれます。登山者と登山道を結びつけるにはとてもいい企画だと思い、ご紹介させていただきます。これをやるには、天候や路面状況や道具、段取り、指導できる人が居ないとただやって終わりとなってしまいますが、それをクリア出来れば、一般登山者が登山道に目を向けてくれる良い機会だと思います。</p> <p>それと、美瑛山岳会さんの方で協働型維持管理という整備をやっていますが、これも一般登山者を募集したらかなりの数が集まります。これからは関係者だけではなく、一般の人にも声をかけていたら面白いと思います。26Pのトムラウシのぬかるみ整備のための木材荷上げは、若い学生に手伝ってもらいました。山岳関係者は忙しく中々来てくれませんが、学生などと繋がりがあるとこういったことも出来、色んな整備にも繋がるので、山と全然関係ない人に手伝ってもらうのもいいかなと思っています。</p> <p>自分が関わった整備は全部まとめてあるので、今後PDF等で環境省HPなどに情報公開して見てもらうことが出来るようにしたいです。</p>
13:56	東川自然保 護官事務所	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きましてNPO 法人ねおす 大雪山自然学校様お願いします・。</p>
13:57 13:59	～ NPO 法人 ねおす 大 雪山自然学 校	<p>《資料7説明》</p>
13:59	東川自然保 護官事務所	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして大雪山国立公園研究者ネットワークの渡辺様お願いします。</p>
13:59～14:01	大雪山国立 公園研究者 ネットワー ク	<p>《別紙2説明》</p> <p>これまでは我々の研究目的のために UAV を使っていましたが、今後は岡崎さん等が整備をする直前と整備後に写真を撮りそれを三次元化し、その後三次元化したものを比較してどれくらいうまくいっているか検証をするなど、そういったことにも役立てる使い方もしていきたいと思っています。</p>
14:01	東川自然保 護官事務所	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他資料の提供はないが、情報提供・ご諮問等ある方いらっしゃいますか。</p>

14:01~14:04	北海道大学 大学院	<p>北海道大学大学院の愛甲です。北海道大学大学院と山のトイレを考える会の活動について資料1の補足をさせていただきます。</p> <p>山のトイレを考える会については、昨日美瑛町さんと打ち合わせをさせてもらい、来年度から美瑛富士避難小屋に携帯トイレブースを設置することになりました。回収は美瑛町さんをお願いするのですが、ブースの清掃について道内の山岳団体に呼びかけて、7団体からご協力頂けるお返事を頂いています。北海道山岳連盟・勤労者山岳連盟・日本山岳会さん等にご協力頂き、交代で清掃・パトロールをしていく予定。美瑛町さんだけに負担がいくのではなく、みんなで協力できるようなシステムを考えていて、3月位には美瑛富士避難小屋携帯トイレブースの協定を立ち上げる予定です。</p>
14:04	東川自然保 護官事務 所	<p>ありがとうございました。その他、何かありますか。</p>
14:05 ~ 14:06	NPO 法人 アースウィ ンド	<p>NPO 法人アースウィンドです。活動場所は黒岳・赤岳で高山植物の開花状況を調査していて、その解析を北海道大学の工藤岳先生にしてもらっています。調査地は4箇所です。14年続けています。昨年、この十年間の一番確実なデータの解析によると調査地では0.3度温度の上昇が認められています。</p> <p>その他の活動は北海岳の洗堀が酷く崩れているのが毎年酷くなっているため、ここは毎年見ていきたいので2年に一度調査に入っています。登山道の深さ・拡幅の距離を記録しています。資料が必要な方は仰って頂ければお渡しできます。</p> <p>大雪山のニペソツ、旭岳～トムラウシ山の縦走等は年間7～10回行っています。</p>
14:07 ~ 14:10	東川自然保 護官事務所	<p>その他、何かありますか。</p> <p>《意見無し》</p> <p>ないようなので、続きましてグループディスカッションに移らせて頂きます。はじめに少し説明させて頂きましたが、グループディスカッションは2グループに分かれて頂きます。名簿にアルファベットを記載させて頂いた方にはそのグループに入って頂き、アルファベットの記載がない方には興味のあるグループに入って頂きます。議論の途中で別のグループにうつって頂くこともできます。</p> <p>今回のグループディスカッションに関しては、大雪山は範囲が広いので、範囲が広すぎて議論が深まっていないのではないか、情報共有がしづらくなっているのではないかと、といった懸念があるため今後の情報交換会のあり方について検討するために試行的にやらせて頂きます。ディスカッション終了後にはどういった議論があったか、どういった進め方がいいのか、などお話しして頂きたいと思っていますので、宜しくお願いします。</p> <p>各グループでは、今のようなことが課題なのか、どういった問題があるのか、共有しておきたい事項等、話し合ってもらいたいと考えております。活発な議論になりますよう、ご協力をお願いします。</p> <p>《席の移動》</p>

平成 26 年度 大雪山国立公園 表大雪地域

登山道関係者による情報交換会

【Aグループ(表大雪地域) グループディスカッション議事録】

◎姿見の池園地-歩道の課題解決に向けて	
発言者	内容
東川エコツアーリズム推進協議会	姿見の池園地は、普段登山に接しない、登山に慣れない方が来訪するので、園路の中でも「第一展望台」までは、段差解消など重点的に行っていただきたいです。
NPO法人ねおす	姿見の池園地から帰ってきた人からは、思ったよりも大変だった、という声を多く聞きます。登山道ではなく、園地の園路であるという認識を持ってもらってはどうか。もう少し整備をすれば観光資源としても生きてくると思います。
○登山道補修について	
南部森林管理署	現在行われている登山道の補修（崩れた場所の補修、段差解消）は、土地所有者としても OK です。
上川総合振興局 環境生活課	課題は認識しているが予算がない状況です。今年度多くの方の協力により補修作業を行うことができました。協力を頂ける補修企画を立てて行きたいので、協力をお願いしたいです。 園地の施設は展望台やベンチも含め老朽化しており、姿見の池のみならず天女が原の木道も痛んでいて課題があることを認識しています。
北海道山岳整備	資材の確保が必要ですが、林内の倒木、枯損木を活用してもらえないでしょうか。
南部森林室	姿見の池周辺には資材提供の場として該当するところはないですが、道有林内の指定箇所から除間伐未搬出木など、搬出をしてもらえるのなら提供出来る場所はあり、提供に協力出来ると思います。
アースウィンド	他地区では、未利用木材の募集を呼びかけたら、集められたことがあります。広く呼びかけてはどうですか。
南部森林室	近年木質バイオマスの活用が進んでいるので、集めづらいと思います。
アースウィンド	赤石川から北海岳へのルートに、侵食がすすんでいる箇所があり対応の必要があります。
上川自然保護官事務所	荒廃の状況については、自然保護官事務所、森林事務所ともに把握をしており、丁度昨日もその課題について、森林官と次年度に対処しようと調整をしていた所であるため、補修の企画を立てたときには協力いただきたいと思っています。
勤労山道央地区	登山道を利用している立場として、登山道の保全のために協力したいと考えています。20団体に約800名の会員がいますが、団体の年間計画は年度の始めには決まるため、早めに日程を決めてお知らせ頂ければ参加しやすくなるので、是非そうして欲しいです。
北海道山岳整備	ボランティア整備に関しては、一番発信力があるのはガイドさんなので、ガイドさんに来てもらいたいです。
アースウィンド	私はアースウィンドでも個人でもガイドをしていて、ガイドが出来る期間は6月～10月までの短期間しかないので、山岳環境保全をうたっていますが、実際は毎日縦走で疲れ切って、一緒に整備に参加したいとは思っても出来ないのが現状です。ガイドは発信する力はあっても、運搬という上では力にならないと思います。
北海道山岳整備	参加することに意義が有ります。労力としてよりは、大雪山のガイドは整備にも関わっている、と言うことを登山者に認知してもらえれば大雪山はもっといい環境になると思います。
	平成 27 年度は、姿見の池園地、北海岳ルートにて協働型の作業を実施する。姿見の池園地の補修は、総合振興局からの呼びかけで行う。
○整備と管理について	
大雪と石狩の自然を守る会	観光客が利用する場所については、安全性の確保が必要ですが、木道が破損したまま放置されるなどが見られしっかりと管理すべきです。一方で国立公園においては、元来大雪山にしかない自然を大事にみせることが目的であり、過剰整備は問題です。百名山が木道と石置の山になってしまいます。

アースウィンド	姿見の池も大雪山らしい原生自然を感じられる場所でした。42年前に旭岳で監視員を行っていた頃は、和服の人も歩きにくい登山道でした。登山道の侵食はすすんでいます。
大雪と石狩の自然を守る会	登山道管理水準でランク付けされたルートの中においても、管理・整備については強弱があっても良いのではないのでしょうか。湿原という脆弱な環境に対しては、どのランクにおいても配慮をしなければならないと思います。
北海道山岳整備	ねおすさんの資料に、協力金の1,615,205円と記載があり、協力金箱の横には整備にも使われているというような趣旨が書いてありますが、これは誰が管理してどのように使われているのでしょうか？
ねおす	NPO法人ねおすは受託しているだけなので、東川町大雪山国立公園保護協会が管理していません。
上川自然保護官事務所	大雪山国立公園にも協力金をもらって管理・運営が成り立っているところが避難小屋や黒岳のトイレなどいくつかあります。上川町では今、協力金を増やそうという動きがあります。
層雲峡ビジターセンター	ガーデンショーを兼ねて、携帯トイレ購入者、ヒグマ情報センターでレクチャーを聞いて募金してくれた人にお花のカードを配布するなどして、協力金アップをしようとしています。
風の便り工房	補修資材としての土嚢は雲ノ平などで使われていますが、1～2シーズンは見た目は問題ありませんが、その後放置されたあとの見栄えが悪いので止めた方が良いと思います。
北海道山岳整備	センサー工は、資材も軽く、施工もしやすく、石積みのような特殊な技術はいらないので活用していきたいと思っています。
上川自然保護官事務所	センサーは樹脂製であり自然素材でないことから、見た目に関して使ってよいかどうか迷っていて、皆さんの意見を聞きたいです。例えば北海岳下などで使ってもいいのでしょうか？
アースウィンド	問題ない、使っていいと思います。
大雪と石狩の自然を守る会	センサーを置くのも、ただ人間の感覚で設置するのではなく、乾燥度合い等データを取って、本当にここに置いていいものなのか吟味して設置をした方がいいと思います。
上川自然保護官事務所	施工事例として利尻山は9号目からセンサーが並んでいます。今年でセンサーを置いて3年目くらいになりますが、最近植物がセンサーの網目から出てきたらしく、一応植物が生える実績はあるようです。

◎登山道管理水準について

山楽舎BEAR	利用体験ランクについて、違和感があるルートがあります。お鉢回りは、大雪山で最も高い稜線であり、ガスった場合や気温が下がった場合などリスクが高く、登山Cでは低いのではないかと思います。旭岳と黒岳にロープウェイがあるから利便性が高いのはわかりますが、その分安易な人が入りやすく、更にCランクだと事故が増えるのではないかと危惧しています。また、シュナイダーについては、登山というよりはクライミングに近い場所であり登山Cは低く感じます
上川自然保護官事務所	利用体験ランクについては、確かに違和感が残る所も少しあります。例えば沼の平・当麻乗越については登山Dより厳しいのではという意見も聞きますし、お鉢回りは黒岳石室があり、一定の安全管理を確保出来ることを理由に登山Cとしています。シュナイダーについては地元が登山Cとして管理したいという意向が出ています。
大雪と石狩の自然を守る会	評価項目が利用体験ランクに基づいて作られているから、もう少し自然条件を考えて評価項目を見直した方がいいのではないのでしょうか。
自然環境コンサルタント	順応的に見直して行けばよく、これまで管理水準作業部会で十分に検討した結果この色になっているのであれば、これをもとにまずすすめてみることでいいのではないのでしょうか。
風の便り工房	パブコメの段階で一般の人からかなり議論はあると思います。
上川自然保護官事務所	パブコメを経てこのランク案を通すとなったとき、地元の人はこちらはこう管理したい、という管理の方針が一つの理由になります。例えば、原始ヶ原滝コースは唯一、下の方でAランクをつけています。これは管理をしている富良野市さんがここは誰でも来て欲しい道じゃなくて、アスレチック的な道で、そういう心構えで来て欲しい、自分たちはもうこのレベルでしか管理しません、ということも明言しているので、そういったことは汲んであげたいと思っています。
上川自然保護官事務所	このグレードは二泊三日の縦走利用とかは考えてなく、区間・ルートでのグレードを示しています。登山ガイドと整合を取っていくのは難しいので私たちはどういう利用体験を提供できるかという風に考えているので、このようなグレード設定になっており、一般の方には標識などで難易度など示せばいいと思っています。

大雪と石狩の自然を守る会	ルート全体の区間としてみるか、限られた区間としてみるか色々あると思いますが、どういう判断で・どういう規準でこれが作られたか知れば、利用する側も納得した活用の仕方が出来ると思います。そこがはっきりしていないから、納得できない、異論があるままになってしまうんだと思います。
山楽舎BEAR	ルート標識以外にも、「急な雪渓有り、軽アイゼン要」みたいな喚起はないのですか？
上川自然保護官事務所	作る予定です。このルート図だけでは規定できないものもあるので、急カーブ有り・落石注意の道路標識みたいなものも必要かと思っています。
アースウィンド	英語表記は最低限、必要だと思います。
山楽舎BEAR	英語表記にした場合、他はハイキングコースでいいですが、シュナイダーコースはクライミングコースになると思います。その辺も考えた方が良いでしょう。
大雪山倶楽部	姿見園地から登山道に入るとき、ロープで分断してゲート式にして、ここから先は遊歩道ではなく登山道、というプレッシャーをかけてはどうですか。
◎その他の課題について	
アースウィンド	裾合平の分岐に携帯トイレブースが欲しいです。旭岳石室の携帯トイレブースは透けているような気がして落ち着かないから使ったことはありませんが、羅臼の銀麗水のトイレブースは立派だから逆にみんな使いたがります。テント式は敬遠します。
上川自然保護官事務所	外国人にも携帯トイレの仕組みを知ってもらうことも考えていかなければいけないと思っています。
アースウィンド	利尻山で携帯トイレが成功したのは、利尻は携帯トイレを使う決まりになりました、という雰囲気を作り上げたのが鍵です。
上川自然保護官事務所	利尻山ではガイドさんの協力もありました。利尻山はガイド登山が多く、ガイドさんがゲストに携帯トイレを持参するようにしてくれたのも定着した大きな要因です。

平成 26 年度 大雪山国立公園 表大雪地域

登山道関係者による情報交換会

【Bグループ(十勝岳連峰) グループディスカッション議事録】

◎美瑛富士避難小屋の携帯トイレブース設置について	
担当	内容
山のトイレを考える会	美瑛富士避難小屋については、避難小屋と野営指定地両方があるのにトイレがない状況です。以前から環境省、北海道に対してトイレ設置について要望してきましたが、美瑛富士避難小屋使用者の行き先や、避難小屋の宿泊者数を調べたところ、固定式トイレの設置は維持管理にかかるコストから考えても適当ではないと考えられたことから、今回携帯トイレブースの設置を提案しました。携帯トイレの携帯者は増えていますが、ブースがないために使いづらい状況です。ただブースを置いただけでは、汚れや使用済みトイレの放置が心配されるため、維持管理体制の構築が必要であり、北海道内山岳関係7団体に声をかけたところ、ほぼ全ての団体からOKの返答をいただきました。1月に担当者打合せを行い、3月に連絡会を発足予定です。各会が大体1シーズンに1回(全体で2週間に1回)のペースで見回りが出来れば良いと考えています。使用済みトイレの回収は美瑛町と協議し、白金観光センターに回収ボックスを設置予定です。推計したところ、おそらく夏シーズンで400個くらい(他地区の結果では、登山者の2割くらいの回収率)の回収になるのではないかと考えています。
旭川山岳会	山のトイレに関しては、各山岳団体の協力体制がとれれば良いことかと思っています。ただ、最近は整備作業が多くなりすぎており、何のために山岳会に入ったのかという話にもなっています。美瑛山岳会も、山に行きたいのに無理をして整備をしていただいているところ。その辺りを考えていただきたいと思います。正式に工事を発注出来るところは、工事発注で対応していただきたいと思います。
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	ブース、回収ボックスを作った段階で終わりではなく、維持管理していかなければなりません。カギがかかっていて使えない状態のボックスもあり、マナーの悪い登山者がおり、携帯トイレ以外のものを捨てたりするので、そういった管理になってしまうところもあります。そういったことも含めて長い間維持していくにはどうしたら良いかということを考えて設置していただきたいと思います。
東川自然保護官事務所	美瑛富士の回収ボックスについては、番号鍵にしたいと考えています。白金観光センターには、開館時には常時人がいるので、聞いて頂ければ分かるようにしたいと思っています。
美瑛山岳会	美瑛町では、ホテルやキャンプ場で携帯トイレを販売するという事はやっていません。行政は、熱心な担当がいれば良いですが、変わってしまったらまた元に戻るという状況です。ホテルやキャンプ場でも置くようにしていかなければならないと思います。登山慣れしている方や組織に入っている方は持って歩く方が増えているので、ブースがあれば使うと思いますが、若い登山者などにも使って頂けるようにすることが、美瑛でやる場合の課題だと思います。
東川自然保護官事務所	最初はコアな方々にブース・回収ボックス設置知って頂く、使って頂くというところになりますが、その後はホテルなどに置いて頂いて、他の方々も手に入れて使うことが出来る状況を作ることが必要であり、丁寧にやっていきたいと考えています。
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	本州の山小屋は有人でトイレもあるから、本州の登山者に携帯トイレを持っていない方が多いように思います。
東川自然保護官事務所	やはり気づいた時に手に入れられる環境が必要ということだと思います。勉強会を開催したり、利尻などの他地区の事例を集めたりして、対策を検討していきたいと思っています。
上川総合振興局 環境生活課	携帯トイレの普及は思うように進んでいないのが現状です。今回の話は美瑛町の協力も得られるということで、大変ありがたいと思っています。処理については、住民の税金でやっていることなので、「なぜ自分達の税金を使ってやらなければならないのか」という声を頂くこともあります。

山のトイレを考える会	利尻でもそういった声は当初からありました。販売する時に処理にかかる料金を上乗せすべきという声もあります。年間利尻は 1300 個くらい回収していて、それを町で処分しています。山岳保全の協力金を集めることになり、協力金を使って登山道整備の資材を買ったり、携帯トイレにかかる費用に回したりしていて、今年は 100 万くらいの協力金が集まっています。清掃の方にそれが使えるかどうかまだわかりませんが、山岳会からたくさんの労力を出して頂いている現状から考えて、登山者に負担を求めることも必要ではないかと思います。美瑛富士の場合は道内の登山者が多いので、できれば使用済みトイレは自宅に持って帰って欲しいと思っています。
旭川山岳会	車で来ている人達は良いですが、東京から来たり列車で来たりしている人たちは、下山した後も着替えたり風呂に行ったりしてから帰るので、余計に荷物も多くなるし、持ち帰りが大変だといえば大変ですね。
山のトイレを考える会	そのあたりの PR を、美瑛町を中心に、足並みをそろえてやっていったほうがいいと思います。
東川自然保護官事務所	美瑛富士の携帯トイレ回収ボックスについては、登山口に設けられれば一番良いですが、鍵や回収ルートなど様々な問題があるので、白金観光センターに設置したいと思っており、ブースについては避難小屋の隣に設けたいと思っています。北海道、上川中部森林管理署には改めて説明させていただきたいと思っており、ぜひ広報にもご協力いただきたいと思います。
山のトイレを考える会	登山口には、回収場所についての周知看板が必要だと思います。
東川自然保護官事務所	あっても目に入らない、ということもよくあるので、なるべくポイントとなるところには設置させて頂きたいと思っており、今後相談させていただきたいです。
◎管理水準について	
美瑛山岳会	例えば化雲岳周辺のように、標高が高く一部ササやハイマツが被っているところや、三川台～オプタテシケ山に関しては、それほど手を加えない方が良いでしょう。強度や頻度はどの程度が良いのでしょうか。登山者から、「自然に合わせた登山をすべきであり、一定の管理はやむを得ないだろうが、そんなにやる必要があるのか」と批判されたことがあります。管理水準と整備の兼ね合いについては、どのような議論がなされているのか教えて欲しいです。
東川自然保護官事務所	そのあたりはまだ結論が出ていません。整備技術指針の中で整理をすべきですが、常時一定の幅で管理するのは難しいし、強度を上げて（5年に1度で済むように、等）やらないと現実的に難しいところもありますし、そこが A ランクだったらどう取り扱うのか、といった問題もあり、ハイマツ刈りやペイントの方法についてはもう少し議論が必要だという話になっていません。
北海道大学大学院	登山者には、登山道のレベルに合わせたそれなりの覚悟をしてきてほしいし、それに合わせたササ刈りの幅や強度があります。利用体験ランクが整備の方に影響を与えるような形になると思います。実際の改定作業で整備技術指針に入れ込めるかどうかというのは、事務的な作業との兼ね合いもあるので、今後改定作業をする際のポイントとなってくると思われます。ある程度「これくらいなら刈って OK」と示すことが必要だと思います。ここからそういった区間が始まる、ということが現地で分かるように、標識等で示すことが必要だと思います。
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	オプタテシケ山～三川台の間は、最近は外国人の利用者が多いです。外国のガイドブックで旭岳～富良野岳等のロングトレイルが紹介されており、評判が良いらしいです。そういったこともある程度考えなければならぬと思います。
東川自然保護官事務所	外国人でも分かるように、ピクトを付けるなどして対応しなければならないという話をしているところです。
旭川山岳会	グレーの登山道（愛山溪）は、前回の議論ではなるべく自然のままにしようというルートでしたが、結局何の整備もしなかったため利用されなくなり、今回は非適用という扱いになってしまったはずです。
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	S28.3.21 に3パーティー26 人が入山し、6 名が亡くなった事故がありました。ここにある八島尾根というのはそこから来た地名です。この管理水準の区分からは、文化的視点、人間らしさが感じられません。これから世界遺産等の登録などを見据えたときには、そういった歴史的な背景もある程度考慮に入れるべきだと思います。荒廃していて管理が行き届かないから非適用というのはあまりにもさびしいです。八島さんは観光パンフレットに写真を使いたいということで入って、事故に合いました。廃道にしてしまったらそういった事実を知る人がますます少なくなってしまうと思います。

東川自然保護官事務所	非適用に関しては、廃道扱いというよりは、レベルを付けた場合にそのレベルで管理できる者がいない、というものも多いです。管理者が決まって責任の所在がはっきりすれば、適用となる可能性はあると思います。
北海道大学大学院	管理の手間との折り合いも付けなければなりません。現状、ここ5年で考えて、見込みがなかなか立ちにくいところは非適用になってしまいました。行きたい人を止めるものではないが、一般登山者に案内できる状態ではない、ということです。
美瑛山岳会	ここは上川の協議会が管理していますが、地元が管理が難しいというのであれば、なかなか難しいのではないのでしょうか。 ツアー登山がたくさん入ってきて、客がシュラフと30リットルくらいのザックを背負って、ポーターとガイドが山のような荷物を背負って上がるような山岳ツアーがあるようです。また、ガイドも案内するところがなくなってあまり行かないようなところに行くようになります。来るなどは言えませんが、事故が起きやすくなると思います。
旭川山岳会	ツアーの企画や、集客する方にも問題があります。今回大雪山特有の条件等を反映した大雪山グレードを定めることは良いことだと思います。誰でも行けるところと本当に厳しい山が今まではっきりしていませんでした。今までの管理水準はどちらかという整備の色が強かったです。
北海道大学大学院	多くの人に知って頂いて、力量に合った登山を考えるようになれば良いと思います。
東川自然保護官事務所	来る前、来た時の広報を考えなければならないと思っています。
旭川山岳会	登山ガイド本にも、大雪山グレードを必ず記載してもらおうようにした方が良いと思います。
北海道大学大学院	今年調査したら、インターネットで調べる人もいますが、まだガイドブックから情報収集する人が多いようです。理由は、信頼性や年代の問題だと思います。
旭川山岳会	三川台は登山道ではないという記述があります。登山道としては認められていないですが、登山者はかなり多いです。どのレベルであれば登山道として認めるのでしょうか。検討会のときに話をした方が良いでしょう。
上川中部森林管理署	森林管理署としては、人気がある場所であることは分かっています。しかし、車を停める場所もないので、鍵の本数を制限しています。無秩序に車を入れた場合に溢れかえることも、道が荒廃するのも目に見えています。元々森林管理署としては登山道として認めておらず、公園計画にも入れないようお願いしています。台地林道は、予算の問題もありますが、沢水で掘れており、路線の付き方上水を逃がしても戻ってくるため直すのも難しい場所です。現状のままの方が長く使えると考えています。
旭川山岳会	三川台は野営指定地にはなっていませんが、実質野営指定地のようになっています。また、オプタテシケ山の下の子池の野営指定地はひどい状態です。三川台に移してしまった方が良いでしょう。
東川自然保護官事務所	野営指定地は管理計画の中で定められています。見直しの段階で変えることは可能です。どこが一番適切なのかという議論をした上で、三川台が拳がってくることは当然あり得ると思っています。
北海道大学大学院	双子池がなくなって三川台、ということになると、南沼からは遠いです。美瑛富士から考えると、三川台はちょうど良い場所です。

◎十勝岳について

旭川山岳会	十勝の規制の関係で、望岳台から登れなくなりましたが、どうするのでしょうか。迂回させるのでしょうか。それとも登山道の付け替えがあるのでしょうか。毎年山開きもある場所です。関係機関でしっかり議論していただきたいです。
東川自然保護官事務所	現在は各団体が対応に追われているところで、具体的話までは聞いていません。どう対応していくか、話をしていかなければならないとは考えています。山開きはどうなる予定ですか？
美瑛山岳会	噴石が飛んでくる可能性もあるような、火山が危険な現状では、登山道閉鎖はやむを得ないと思っています。迂回路を設置するといっても、1km範囲から外れたところは、歩けません。遭難救助でコース以外も歩いていますが、北向沢のところは傾斜が急だし、火山礫をどけないとどうにもなりません。おそらくレベル2から1に下がることは当分ないでしょう。地元としても入ってほしくないと思っています。
東川自然保護官事務所	登山道が閉鎖されているということの周知に力を入れるべきだと思います。上富良野町では周知看板を設置されたと聞いていますが。
上富良野町	登山口には看板設置済みです。HPで周知しています。
美瑛山岳会	前回は熱冷水が出てから2年で噴火しています。今回の状況は前回と似ているように思えます。

東川自然保護官事務所	三段山については来年開通ということでもいいですか？
上富良野町	十勝岳の件があるので、現状では何とも言えません。
◎原始ヶ原について	
美瑛山岳会	五反沼のところは、山岳会によればあえてササ刈りしていないと言っていました。あのルートは迷いやすく危険です。
東川自然保護官事務所	このコースは過去の保護官と富良野山岳会の間で、管理も難しいということで、五反沼までは使わせないようにしようという話があったと聞いています。今回も非適用となっています。滝コースは、今年富良野市が橋を架け替えています。
富良野市	来年の春、橋が流されていなければコースを開ける予定です。富良野市としては、原生的な環境を守りながら大事に使っていきたいと考えており、使い方や整備の仕方についても、調査を行った上でこれから考えて行きたいと思っています。かなり迷いやすく、表示も昔のものそのままなので、林間コースも含めて、もう少しわかりやすい形で提供したいと思っています。
◎協働型維持管理について	
東川自然保護官事務所	旭川山岳会さんから、協働型維持管理については、あまりにもボランティア頼りになりすぎているという指摘がありました。個人的にも心苦しく思うところがあります。全てがボランティアベースという形でなく回していくことができないかと思っていますが、なかなかアイデアが浮かびません。何か良いアイデアはないでしょうか？
北都エンジニアリング	羅臼だと特定の方がずっと管理に関わっており、そこに標識の設置・撤去を含めて随意契約で発注しています。要望等を聞いて管理しやすいようにやっていました。そこで面白かったのは、携帯トイレの小便器バージョン（男性）があったことです。事細かいことを聞きとってやっていました。管理しやすいように作ることができれば、ちゃんと管理してもらえます。ただ、管理する人が多いと難しいです。
北海道大学大学院	携帯トイレは時間がかかってガイドに不評のようです。簡単にできるような小便器バージョンが作られたりしています。また、待ち時間が発生するのでたくさんブースを作ってほしいという要望もあります。
美瑛山岳会	協働型（GW 事業）で整備を行いました。やったところとやっていないところの差が顕著になってしまい、悩んでいます。雨の日は特に顕著になります。整備前は「このくらいなら大丈夫だろう」と思っていたところが、目立ってきてしまっています。ぬかるみのところをやったら、また次のところがぬかるんでしまったりすることもあります。天気の良い日にはぬかるまないの、登山者に「どうしてこんなところに木道を付けているのか」と言われることもあります。天候による登山者の感じ方が違います。また、ササの部分なら表面処理もできますが、水を逃がすと植物帯に悪影響を及ぼす可能性があるところもあります。山岳会が技術力を上げても、どっちみち素人なので、やれることは限られています。どこまでやれば良いのか、登山者によっても考え方が違い、悩んでいます。
東川自然保護官事務所	管理水準によって登山道の管理レベルを定めますが、実際に適用する段階でいろいろ不都合は出てくるだろうとは思っています。公共工事によるハード整備を入れた場合、その後管理がしにくくなることもあります。コツコツと小さな整備を重ねていった方がかえって良かったりすることもあり、難しいところです。
美瑛山岳会	標高の高いところにロープを張って、それを管理するというのも非常に大変です。ロープの上げ下げも重労働です。やらなければ入ってしまうので、もちろん必要な場所はあるとは思いますが、旭岳は効果的だと思いますが、十勝岳はどこでも入れてしまう状況です。
東川自然保護官事務所	ロープの張り方、マーキングの仕方については有る程度の幅を持ってお示しすることが必要なのではと考えています。管理水準の議論の中で、今後詰めていきたいと思っています。
美瑛山岳会	十勝岳～美瑛岳は、遭難対策のため標識がもっと欲しいということで15～20年前に道警とともに標識を設置しました。現在は古くなって破損したものが多く、前十勝で使った杭の余りで代用している場所もあります。
旭川山岳会	有る程度の標識は必要です。ただ、何も書いていない杭でも良いし、最低限のもので良いと思います。遭対協では、傷んだものはおろすことになっています。距離表示が消えてしまっているものもありますね。
東川自然保護官事務所	メンテナンスの手間が軽減されるような、登山道だけわかるようなものにするなど、工夫しても良いのかもしれませんが。管理水準と合わせてご相談しながらやっていければと思います。
美瑛山岳会	協働型で直前に募集されても、山岳会に所属している人が集まりにくい。山岳会は年度当初に行事を決めてしまい、そちらを優先します。整備の計画・情報は早めに出して頂きたいと思っています。また、平日は仕事を持っている人は参加しにくい。

東川自然保護官事務所	今後は土日を含めて考えたいと思っています。また、直前に決まるものもありますが、早めに決められるものもたくさんあるので、年度末にお知らせが出来るようにと3保護官事務所で話をしています。ぜひ山岳会にも引き続きご協力いただければと考えているので、よろしくお願いしたいです。
北海道大学大学院	実際に山に登る人の多くは札幌周辺に住んでいるし、山岳会に入っていない方もいます。そういった人たちを巻き込めるような仕組みが必要です。山岳会ばかり負担が増えるのは良くないと思います。美瑛富士の携帯トイレブース維持管理については、山のトイレを考える会が受け皿になり、組織に所属していない方については山のトイレを考える会の会員になってもらった上で参加してもらいたいと考えています。登山道整備については現状では受け皿がないと思いますが、若い人や山岳会に入っていない人も参加できるような仕組みを考えていく必要があります。情報交換会で出てきた話や行事の予定がもっと簡単に、即時的に見られるようになると良いと思います。情報交換会の案内が紙ベースで来ると、情報の拡散がしづらいので、データでもらえればやりやすいです。
東川自然保護官事務所	案内の仕方についてはこちらで工夫するようにします。札幌在住の方や山岳会に所属していない方に、簡易に参加していただく方法については悩んでいるところです。今後の仕組みを考えたいと思っていますので、ぜひ相談させていただきたいです。

◎今後の情報交換会のあり方について

東川自然保護官事務所	今回の進め方についてどう思いますか。
上川中部森林管理署	話し合いの場が小さい方がいろいろな話も聞けるし、本音で話しやすいと思いました。このような形での議論はあった方が良いと思います。ただ、当方はどちらのグループにも関わっているのですが、どちらの話にも参加したいですが、2名参加できないとどちらかまるっきり参加できなくなってしまいます。別日で別場所で開催する、という考え方もあるとは思いますが。
旭川山岳会	こういった形でこじんまり話をした方が意見が伝わってきました。もし2つのグループでやるのであれば、一方のグループには意見を事前に出しておけば良いと思います。また、他のグループの内容も、参加していない人も後からわかったら良いと思います。
北海道大学大学院	情報交換会の資料は、会議前に確認出来るようにしていただきたいです。また、それぞれのグループの議論を、簡単なメモで良いので共有して欲しいです。

時間	担当	内容
15:50	東川自然保護官事務所	<p>グループディスカッション、活発な議論ありがとうございました。</p> <p>《A・B各グループでの意見交換内容の説明》</p> <p>グループディスカッション自体は有意義だというお話がありましたので、次年度以降どのような形でやっていくか検討したいと思います。来年度もご協力よろしくお願いいたします。</p>
16:00	上川自然保護官事務所	<p>皆さんお疲れさまでした。これだけ多くの皆さんに参加していただき、2つに分けて議論をしました。消化できないこともありましたが、チャレンジしていかないといけないことも、アイデアを頂いたりもしました。</p> <p>これだけの方に集まって頂くのは、それだけ多くの方に大雪山が愛されているのだと思います。今後もこういう機会を作っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p>